

JET からの手紙

国際交流員だからこそできること ～積み重ねた経験を次へつなげる～

奈良県知事公室国際課

南 炫汀 (ナム・ヒョンジョン)

さまざまな業務と新しい経験

私は、2018年4月から国際交流員として奈良県国際課に勤めており、国際交流員になる前に、3回ほど奈良県を訪れたことがあります。街中を歩きながら世界遺産を見ることができ、昔ながらの雰囲気が感じられる奈良での生活は、毎日が楽しく、新しいことばかりです。

奈良県の国際交流員は、主に通訳・翻訳、国際交流イベントの開催、情報誌「奈の良」の発行、学校訪問や文化講座などの国際交流員派遣業務、友好都市関連業務、県内国際行事のサポートなどを行っています。また、県内で開催される国際行事や韓国自治体へ訪問する際に、知事や来賓の通訳を務めたり、県庁内の諸課から依頼を受けて翻訳業務をしたりしています。



第65回春のJETNetイベント(馬見丘陵公園)

年に4回開催するJETNetイベントは、奈良県のJET青年が主体となり、県民の皆さんと触れ合いながら国際交流をするイベントで、ハイキングや運動会などの多彩なプログラムを準備し、県内のさまざまな場所で、今ま

で60回以上のイベントを開催しています。場所の選定から企画、実施まで、全ての過程を国際交流員が主体となって進行しているので、行きたいところでやりたいことができる機会でもあり、私自身も楽しみながらイベントを実施しています。

また、外国人の目線で見た奈良県の魅力を伝える情報誌「奈の良」では、国際交流員が取材地域や場所を選定し、取材、記事作成、デザイン、編集、印刷、発行、発送等の全ての作業を行っています。「奈の良」は、日本語、韓国語、英語、中国語、フランス語の5か国語で発行しており、各言語を担当する国際交流員と協力をしながら作成しています。記事の作成や発送等の作業は大変ではありますが、私自身が観光客の気持ちになって県内のさまざまな場所を取材し、紹介する楽しさを感じています。



小学校で学校訪問講座(韓国について紹介)

学校訪問や文化講座では、主に韓国文化や韓国語について紹介しています。県内の小・中・高校や施設等を訪問し、韓国についてもっと多くの方々に知ってもらえるように工夫しながら講座をしています。

他にも、奈良は昔から百済との文化的、歴史的なつな



友好都市訪問（次世代養成事業）

があり、韓国の忠清南道と活発な国際交流を行っているため、韓国への出張や韓国からの訪問団との交流に関する業務にも携わることができました。

国際交流員だからできること

国際交流員は地方公務員として働くだけでなく、国際交流の架け橋になるという大事な役割を担っています。

今まで、韓国の文化や韓国語を通じて県民の方々と国際交流をしたり、テレビ出演や広報誌、新聞記事などのメディアを通じて奈良県や韓国についてPRしたり、国際交流員だからこそできることをたくさん経験してきました。

特に、国際交流員として日本で生活している間に、東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれたことは、私にとって二度とないような特別な機会でした。今年7月に開催予定だった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が来年に延期となったため、聖火リレーの予定も未定ではありますが、もし聖火ランナーとして奈良県を走ることができたら、地域を愛する気持ちを込めて、地域の人と人の想いをつなぎたいと思っています。

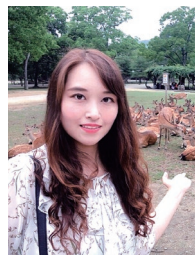
これまでをこれからにつなげる

国際交流員は、さまざまな場所で、たくさんの人と触れ合いながら国際交流を行い、活躍しています。その一

人である私は、今までの経験を大切にしながら、これからも国際交流を通じて国と国をつなぐ、人と人をつなぐ大事な役割を果たしていきたいと思っています。

JETプログラムは日本で生活しながら働き、これからも日本と関係のある仕事をしたいと考えている私にとって、とても魅力的なプログラムです。JET参加者として活動できる期間は限られていますが、だからこそ今自分にできることを精一杯やりたいと思っています。前の仕事を通じて学んだことを活かして、今、国際交流員の仕事をやっているように、また、国際交流員としての経験を次の仕事に活かしたいと思います。将来、どんな仕事をして、どんな状況に置かれても、国際交流員として積み重ねてきた経験が必ず役立つと思います。

プロフィール



南 炫汀

(남현정; ナム・ヒョンジョン)

韓国の慶尚南道馬山（マサン）出身。大学で文献情報学、経営学、日語日文学を専攻。国際交流員になる前から日韓交流の架け橋となる

仕事に従事。その経験を活かして今は国際交流に励んでいる。将来は、国際交流関係やイベント企画、マーケティング分野に関する仕事がしたい。